

『改訂版 統計検定 2 級』1 → 2 刷 正誤表

該当箇所	誤	正
p.5 20 行目	“1.5 倍高い” や “重い” という	“1.5 倍高い” や “1.5 倍重い” という
p.35 (d) の数式 3 行目	$= \frac{\hat{\beta}}{n} \sum \{ \text{略} \}$	$= \frac{\hat{\beta}}{n} \{ \sum \text{略} \}$
p.73 (2.7.6) 数式の 1 行目	$\sum_{x=0}^n x \cdot \text{略}$	$\sum_{x=0}^n x(x-1) \cdot \text{略}$
p.85 (2.9.16) 数式の 1 行目中央の分母側	$\sqrt{2\pi\sigma_x^2\sigma_y^2(1-\rho^2)}$	$2\pi\sqrt{\sigma_x^2\sigma_y^2(1-\rho^2)}$
p.162 8 行目の見出し	線形重回帰モデルと偏回帰係数	線形重回帰モデルと回帰係数 (偏回帰係数)

『改訂版 統計検定 2 級』2 → 3 刷 正誤表

該当箇所	誤	正
p.20 10 行～12 行目	たとえば右に裾が長いときの順序は図 1.13 のように、最頻値<中央値<平均となる。左に裾が長いときは順序が逆になり、平均<中央値<最頻値 となる。	たとえば、図 1.13 の分布は最頻値<中央値<平均となる。特殊な例を除いて、一般に、単峰で右に裾が長い分布は最頻値<中央値<平均、単峰で左に裾が長い分布は平均<中央値<最頻値 となる。
p.32 下から 8 行目	偏相関係数は - 0.228 となり、	偏相関係数は - 0.408 となり、

『改訂版 統計検定 2 級』3 → 4 刷 正誤表

該当箇所	誤	正
p.225 5 行目	多重性 (mutiplicity)	多重性 (multiplicity)